

令和7年度 かずさ水道広域連合企業団水道事業会計当初予算の概要

かずさ水道広域連合企業団

予算の概況

令和7年度予算は、「君津地域水道事業統合広域化基本計画」（平成29年10月策定）及び「かずさ水道広域連合企業団広域連合ビジョン」（令和6年3月策定）に掲げる施設整備水準の改善を、国からの交付金等の特定財源を活用しながら、着実に推進していくための事業費を計上するとともに、これまで災害対応に当たってきた経験等を踏まえ災害対応力の強化を図り、「強靱な水道」を計画的に構築するための予算を計上しました。

（1）水道料金収入

水道事業における水道料金収入は、実績ベースを用いた給水量見込みにより積算しています。令和6年4月から改定した水道料金により算定していますが、人口減や節水意識の高まりに伴う有収水量の減少などもあり、令和6年度予算の96億200万円から900万円減となる95億9,300万円を計上しています。

水道用水供給事業における給水料金は、令和6年度に引き続き4市と県の基本料金格差の是正に係る料金減免を行うものの、令和7年度は受水団体の設備故障等の影響による水量増があることなどにより、令和6年度予算の60億9,900万円から3,200万円増となる61億3,100万円を計上しています。

（2）施設更新・耐震化事業費の確保

老朽管や耐震性の低い施設が多く残る「安定給水の危機」という課題の解消に向け、国の統合広域化交付金等（要望額17億2千万円）を活用した施設整備を推進します。

建設改良費の改良事業費では、水道事業で77億3千万円（管工事73件・工事延長39,372m）を、水道用水供給事業では9億3千万円（施設の耐震化等）を計上し、安定給水の更なる強化に努めます。

また、令和6年度から引き続き施設統廃合事業（上烏田浄水場配水池等整備等）を推進し、将来の施設維持費等の削減と施設耐震化による強靱な水道システムの構築を目指します。

○主要事業

- ・ 4市共同事業：宝竜寺地先配水連絡管布設工事、畑沢地先配水連絡管布設工事 ほか
- ・ 木更津市域事業 2,808,357千円（管工事24件・工事延長16,366m）
畑沢四丁目地先配水管改良工事、大久保一丁目地先配水管改良工事 ほか
- ・ 君津市域事業 2,175,954千円（管工事21件・工事延長9,838m）
長谷川地先配水管更新工事、貞元地先配水管更新工事 ほか
- ・ 富津市域事業 1,652,193千円（管工事19件・工事延長8,929m）
富津地先配水管更新工事、西川橋外橋梁添架管改良工事 ほか
- ・ 袖ヶ浦市域事業 1,092,269千円（管工事9件・工事延長4,239m）
中袖地先配水管改良工事、南袖地先配水管改良（その2）工事 ほか
- ・ 水道用水供給事業 925,423千円
第2サージタンク耐震補強工事、馬登川水管橋劣化補修及び上部工耐震補強工事、
大寺浄水場トリハロメタン計更新工事 ほか

（3）災害対策への取組

従来までの地震対策のほか、これまでの災害による被害とその対応にあたった経験等を踏まえ、安定的な給水を行うための自家用発電機整備など災害対応力の強化に向けた取り組みを進めます。

- ・ 自家用発電機の整備など

君津市：三直増圧ポンプ場自家発電設備設置
袖ヶ浦市：上泉加圧場非常用発電機点検整備
- ・ 災害への備えとして非常用発電機の借上げ等
- ・ 災害対策基本計画に定める通信手段の確保を図るための衛星電話導入
- ・ 災害対策備蓄資材（非常用給水袋、災害用給水タンクなど）等の購入

1 業務の予定量

(水道事業)	令和7年度					(参考)
		木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	令和6年度予算
年間総給水量 (m ³)	38,327,176	16,009,757	9,383,576	5,520,495	7,413,348	37,961,395
1日平均給水量 (m ³)	105,005	43,862	25,708	15,125	20,311	104,003
年間有収水量 (m ³)	31,873,207	13,582,678	7,522,813	4,063,084	6,704,632	31,915,800
給水戸数 (戸)	140,883	61,717	35,401	17,041	26,724	139,060
給水人口 (人)	317,564	136,771	78,334	38,123	64,336	318,258

※給水人口は行政区域内常住人口から給水区域外人口と未給水人口を控除した人数です。

(水道用水供給事業)	令和7年度	(参考) 令和6年度予算
年間総給水量 (m ³)	51,572,660	50,612,930
1日平均給水量 (m ³)	141,294	138,665

2 収益的収支

(1) 水道事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 (B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
水道事業収益	11,458,678	11,421,634	37,044	100.3%
営業収益	9,885,207	9,888,401	△ 3,194	100.0%
(うち水道料金)	(9,593,396)	(9,601,603)	(△ 8,207)	99.9%
営業外収益	1,573,471	1,533,233	40,238	102.6%
(うち加入金)	(609,345)	(627,858)	(△ 18,513)	97.1%
水道事業費用	10,788,626	10,612,841	175,785	101.7%
営業費用	10,379,018	10,205,176	173,842	101.7%
原水及び浄水費	5,014,020	5,014,495	△ 475	100.0%
配水費	955,346	906,272	49,074	105.4%
給水費	313,024	302,087	10,937	103.6%
業務費	628,153	611,692	16,461	102.7%
総係費	396,055	379,886	16,169	104.3%
減価償却費	3,019,823	2,919,651	100,172	103.4%
資産減耗費	52,597	71,093	△ 18,496	74.0%
営業外費用	377,338	375,395	1,943	100.5%
支払利息及び企業債取扱諸費	370,828	361,601	9,227	102.6%
雑支出	1,037	1,097	△ 60	94.5%
消費税及び地方消費税	5,473	12,697	△ 7,224	43.1%
特別損失	12,270	12,270	0	100.0%
過年度損益修正損	12,270	12,270	0	100.0%
予備費	20,000	20,000	0	100.0%
収支差(税込み)	670,052	808,793	△ 138,741	82.8%
純損益(税抜き)	236,638	412,169	△ 175,531	57.4%

【収益的収支の状況(水道事業)】

水道事業の収益的収支は、収入は概ね横ばいで推移するものの、費用では積極的な更新工事の実施による減価償却費の増や、物価高騰及び労務単価の上昇等により事業経費が全般的な増加傾向にあるため、純利益は対前年度比で1億7,500万円減の2億3,700万円を見込んでいます。

(2) 水道用水供給事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 (B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
水道事業収益	6,400,156	6,393,155	7,001	100.1%
営業収益	6,160,169	6,127,745	32,424	100.5%
(うち給水料金)	(6,130,603)	(6,098,932)	(31,671)	100.5%
営業外収益	239,987	265,410	△ 25,423	90.4%
水道事業費用	6,972,505	6,895,661	76,844	101.1%
営業費用	6,745,795	6,665,950	79,845	101.2%
原水及び浄水費	3,126,749	3,229,114	△ 102,365	96.8%
送水費	863,034	613,079	249,955	140.8%
総係費	424,092	379,471	44,621	111.8%
減価償却費	2,304,883	2,402,593	△ 97,710	95.9%
資産減耗費	27,037	41,693	△ 14,656	64.8%
営業外費用	217,710	220,711	△ 3,001	98.6%
支払利息及び企業債取扱諸費	54,561	65,811	△ 11,250	82.9%
雑支出	120	195	△ 75	61.5%
消費税及び地方消費税	163,029	154,705	8,324	105.4%
予備費	9,000	9,000	0	100.0%
収支差(税込み)	△ 572,349	△ 502,506	△ 69,843	—
純損益(税抜き)	△ 625,475	△ 574,857	△ 50,618	—

【収益的収支の状況(水道用水供給事業)】

水道用水供給事業の収益的収支は、費用においてダム負担金の減少や減価償却費の減※などがある一方、老朽化施設の修理や長寿命化に要する修繕工事費が増加するため、純損益は対前年度比で5,000万円減の△6億2,500万円を見込んでいます。

※継続工事などで令和6年度末に工事が完成せず、令和7年度から新たな償却が発生しない事業が多いため減

3 資本的収支

(1) 水道事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 (B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
資本的収入	6,218,264	1,378,053	4,840,211	451.2%
企業債	3,763,100	889,600	2,873,500	423.0%
出資金	745,209	166,500	578,709	447.6%
国庫補助金	1,554,984	255,260	1,299,724	609.2%
他会計補助金	15,588	20,543	△ 4,955	75.9%
負担金	139,383	46,150	93,233	302.0%
資本的支出	9,964,671	3,902,988	6,061,683	255.3%
建設改良費	8,047,371	2,033,909	6,013,462	395.7%
改良事業費	7,728,773	1,743,737	5,985,036	443.2%
事務費	303,361	278,107	25,254	109.1%
固定資産購入費	3,924	3,126	798	125.5%
量水器費	11,313	8,939	2,374	126.6%
企業債償還金	1,897,300	1,849,079	48,221	102.6%
予備費	20,000	20,000	0	100.0%
収支差(税込み)	△ 3,746,407	△ 2,524,935	△ 1,221,472	148.4%

(2) 水道用水供給事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 (B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
資本的収入	477,464	408,396	69,068	116.9%
企業債	280,000	280,000	0	100.0%
出資金	32,200	600	31,600	5366.7%
国庫補助金	165,264	127,796	37,468	129.3%
資本的支出	2,269,414	2,026,640	242,774	112.0%
建設改良費	1,569,674	1,332,566	237,108	117.8%
改良事業費	925,423	1,050,689	△ 125,266	88.1%
事務費	52,747	66,798	△ 14,051	79.0%
固定資産購入費	393,079	54,641	338,438	719.4%
負担金	198,425	160,438	37,987	123.7%
企業債償還金	694,740	689,074	5,666	100.8%
予備費	5,000	5,000	0	100.0%
収支差(税込み)	△ 1,791,950	△ 1,618,244	△ 173,706	110.7%

【資本的収支の状況】

水道事業においては、収支不足額は対前年度比で12億2,000万円増額となる見込みです。

用水供給事業においては、収支不足額は対前年度比で1億7,000万円増額となる見込みです。

なお、両事業とも収支不足額は損益勘定留保資金等で補てんすることとします。

※比較対象となる令和6年度当初予算は、国の補正予算に対応し国庫補助金を最大限活用するため、令和5年度補正予算(第2号)に事業費とその財源を前倒し計上したことから、増減額が多額となっています。

【参考】資本的収支（前年度(令和6年度当初予算と令和5年度補正予算（第2号）の合算）との比較）

(1) 水道事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算(第2号)(B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
資本的収入	6,218,264	6,009,905	208,359	103.5%
企業債	3,763,100	3,494,600	268,500	107.7%
出資金	745,209	868,100	△ 122,891	85.8%
国庫補助金	1,554,984	1,509,313	45,671	103.0%
他会計補助金	15,588	20,543	△ 4,955	75.9%
負担金	139,383	117,349	22,034	118.8%
資本的支出	9,964,671	9,177,440	787,231	108.6%
建設改良費	8,047,371	7,308,361	739,010	110.1%
改良事業費	7,728,773	6,974,761	754,012	110.8%
事務費	303,361	278,107	25,254	109.1%
固定資産購入費	3,924	46,554	△ 42,630	8.4%
量水器費	11,313	8,939	2,374	126.6%
企業債償還金	1,897,300	1,849,079	48,221	102.6%
予備費	20,000	20,000	0	100.0%
収支差(税込み)	△ 3,746,407	△ 3,167,535	△ 578,872	118.3%

(2) 水道用水供給事業の部

(単位：千円・税込み)

	令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算(第2号)(B)	増 減	
			額(A)-(B)	率(A)/(B)
資本的収入	477,464	725,228	△ 247,764	65.8%
企業債	280,000	450,000	△ 170,000	62.2%
出資金	32,200	2,200	30,000	1463.6%
国庫補助金	165,264	273,028	△ 107,764	60.5%
資本的支出	2,269,414	2,485,347	△ 215,933	91.3%
建設改良費	1,569,674	1,791,273	△ 221,599	87.6%
改良事業費	925,423	1,509,396	△ 583,973	61.3%
事務費	52,747	66,798	△ 14,051	79.0%
固定資産購入費	393,079	54,641	338,438	719.4%
負担金	198,425	160,438	37,987	123.7%
企業債償還金	694,740	689,074	5,666	100.8%
予備費	5,000	5,000	0	100.0%
収支差(税込み)	△ 1,791,950	△ 1,760,119	△ 31,831	101.8%

【資本的収支の状況】

水道事業においては、改良事業費が大きく増額することなどから、収支不足額は対前年度比で5億8,000万円増額となる見込みです。

水道用水供給事業においては、事業用地の購入に充てるため固定資産購入費が増加するものの、改良事業費の減額が上回り、支出全体では減額となりますが、改良事業費の減に対応して収入となる財源も減額することから、収支不足額は対前年度比で3,000万円増額となる見込みです。

なお、両事業とも収支不足額は損益勘定留保資金等で補てんすることとします。

【参考】水道事業における各市域の状況（前年度(令和6年度当初予算と令和5年度補正予算（第2号）の合算）との比較）

○木更津市域

（単位：千円・税込み）

		令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算（第2号）(B)	増減 (A) - (B)
収益的 収支	水道事業収益	4,492,359	4,495,981	△ 3,622
	水道事業費用	4,257,809	4,213,199	44,610
	収支差（税込み）	234,550	282,782	△ 48,232
	純損益（税抜き）	79,411	114,965	△ 35,554
資本的 収支	資本的収入	2,060,544	2,341,890	△ 281,346
	資本的支出	3,562,777	3,605,559	△ 42,782
	収支差（税込み）	△ 1,502,233	△ 1,263,669	△ 238,564

○君津市域

		令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算（第2号）(B)	増減 (A) - (B)
収益的 収支	水道事業収益	2,844,875	2,805,456	39,419
	水道事業費用	2,627,183	2,505,459	121,724
	収支差（税込み）	217,692	299,997	△ 82,305
	純損益（税抜き）	92,434	198,285	△ 105,851
資本的 収支	資本的収入	1,866,854	1,544,485	322,369
	資本的支出	2,774,213	2,412,050	362,163
	収支差（税込み）	△ 907,359	△ 867,565	△ 39,794

○富津市域

		令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算（第2号）(B)	増減 (A) - (B)
収益的 収支	水道事業収益	1,840,644	1,807,776	32,868
	水道事業費用	1,747,552	1,734,936	12,616
	収支差（税込み）	93,092	72,840	20,252
	純損益（税抜き）	6,088	7,754	△ 1,666
資本的 収支	資本的収入	1,397,349	1,196,721	200,628
	資本的支出	2,015,154	1,650,054	365,100
	収支差（税込み）	△ 617,805	△ 453,333	△ 164,472

○袖ヶ浦市域

		令和7年度当初予算 (A)	令和6年度当初予算 +令和5年度補正予 算（第2号）(B)	増減 (A) - (B)
収益的 収支	水道事業収益	2,280,800	2,312,421	△ 31,621
	水道事業費用	2,156,082	2,159,247	△ 3,165
	収支差（税込み）	124,718	153,174	△ 28,456
	純損益（税抜き）	58,705	91,165	△ 32,460
資本的 収支	資本的収入	893,517	926,809	△ 33,292
	資本的支出	1,612,527	1,509,777	102,750
	収支差（税込み）	△ 719,010	△ 582,968	△ 136,042

【内部留保資金の状況】

(単位：千円)

					水道事業	水道用水
	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市	合計	供給事業
① R 7 年度発生留保資金	1,098,634	834,001	480,022	594,805	3,007,462	1,566,255
② R 6 年度末繰越留保資金	2,065,533	1,000,371	1,201,238	859,309	5,126,451	6,679,506
③ 計 (①+②)	3,164,167	1,834,372	1,681,260	1,454,114	8,133,913	8,245,761
④ 4 条補てん額	1,502,233	907,359	617,805	719,010	3,746,407	1,791,950
次年度繰越留保資金③-④	1,661,934	927,013	1,063,455	735,104	4,387,506	6,453,811
広域連合ビジョン 計画値	1,577,362	887,421	926,284	797,265	4,188,332	5,730,753
計画比較	84,572	39,592	137,171	△ 62,161	199,174	723,058